

4－1

(2) 市民調査員制度の活用

新修宗像市史編さんでは、市民協働による新しい宗像の歴史像を描き出すことをひとつの目的としている。そのために市民による地域資源調査員を組織し、専門家の指導の下、地域のネットワークを活かした地域資源調査を実施する。その成果は執筆者等に提供され研究に役立つとともに、調査活動を通じ、地域住民が足元の文化財に改めて目が向くことで文化財保護意識の向上も期待される。

4－2

構成遺産→構成資産

4－4

(1) 地域学芸員の研修機会の提供や活動

世界遺産登録後、ますます活躍の場の増加が見込まれるため、本市の歴史文化の価値や魅力を正しく理解するための地域学芸員養成講座（初級・中級・~~上級~~）を実施するとともに。さらに上級講座では体験学習やガイド等、地域学芸員が日頃研鑽を深めたいと考えているテーマに即した個別研修会などを行い地域学芸員の意欲及び能力の向上スキルアップを図る。

(2) 地域学芸員の活動の場の提供

~~また、~~来訪者はボランティアガイドとの交流のなかで、その地の歴史文化への理解を深め魅力を発見しており、地域学芸員は来訪者対応の側面からも大切な役割を担っている。そこで海の道むなかた館を中心とするガイド活動が行いやすいようリニューアル事業で展示構成の見直しを行う~~充実させる~~とともに、企画展示への参画や体験メニュー作成など活動領域を広げるための支援を行う。